

新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 感染拡大防止対策の強化

○PCR 検査体制の充実

- ・ 検査可能件数 4月70件/日→7月後半から230件
さらに今後医療機関において378件の処理が可能に
⇒秋ごろには合計608件の処理が可能
- ・ 富山、新川、砺波医療圏に、かかりつけ医からの紹介でPCR検査を受けることができる「地域外来・検査センター」を開設
※高岡医療圏は早期開設に向け協議中

○クラスター発生時の初動体制の整備

- ・ クラスターが発生した公的病院にクラスター対策班を派遣（県職員同行）したほか、介護施設には、県が市と連携して、関係団体に対し、介護職員等の応援要請を実施するとともに必要経費等を支援。
- ・ 6/2に感染症対策チーム（3チーム）を新たに設置し、災害派遣医療チーム（DMAT（22チーム））と連携協力する体制を整備

(2) 医療提供体制の整備等

○感染症入院患者受け入れ病床の確保

- ・ 本県ピーク時（4/28）の入院患者数104人… 確保病床205床
- ・ 入院患者40人以上で、国が示す患者推計を大きく上回る340床（うち重症用36床）を確保

※入院患者20人以上で134床（重症12床）

※最大時は500床を確保（7病院に加え日赤、済生会等の協力）

○宿泊療養施設の開設

- ・ 宿泊療養施設（100室）の開設（4/25～6/30）※最多時21人が入所
→第2波、第3波に備え、当面50床を確保予定
さらに100床準備中

(3) 社会福祉施設等における感染防止対策

○3/10「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策第2弾」等を踏まえた対応

- ・国の優先供給スキームを活用し、県内の高齢者施設に消毒用アルコールを配布、国において施設の職員や利用者に対し布製マスクを配布

○県6月補正で第2波に備えた介護等提供体制の整備を促進

- ・品薄状態がかつ比較的高価だった、マスク等の衛生物品を無償配布
⇒ 経営が厳しく、大量の調達が困難である複数の施設から、お礼状
- ・面会制限のため、家族と入所者の面会が叶わない中、リモート面会用のタブレット端末の購入をはじめとした施設等が購入する衛生物品や備品等の購入費を支援
- ・感染症に対する正しい知識を十分に浸透していなかったことから、各厚生センター等で、介護施設等の巡回指導訪問等を実施。今後、専門医によるWEBセミナーや予防啓発に関するDVDを作成
- ・介護施設で感染が疑われるものが複数発生したことから、入所者を分離する場合等に備え、多床室の個室化支援